

2013年度第1四半期決算説明資料

2013年7月31日

川崎汽船株式会社

A. 2013年度第1四半期決算概要

- A-1 第1四半期決算概要
- A-2 上期業績予想
- A-3 通期業績予想
- A-4 業績変動のポイント
- A-5 コスト削減の進捗状況

B. 部門別業績動向

- B-1 コンテナ船
- B-2 不定期専用船 – ドライバルク
- B-3 不定期専用船 – 自動車船
- B-4 不定期専用船 – LNG船・油槽船
- B-5 海洋資源開発及び重量物船

A. 2013年度第1四半期決算概要

A-1. 第1四半期決算概要

(単位:億円)

(単位:億円)

	2013年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	増減額
売上高	2,957	2,736	221
営業損益	73	41	32
経常損益	109	72	37
当期純損益	70	▲ 7	77
為替レート	¥97.72	¥80.77	¥16.95
燃料油価格	\$638	\$716	▲ \$79

		2013年度 1Q実績	2012年度 1Q実績	増減額
コンテナ船	売上高	1,419	1,333	86
	経常損益	0	6	▲ 6
不定期専用船	売上高	1,361	1,250	111
	経常損益	122	60	62
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	85	52	33
	経常損益	▲ 12	5	▲ 17
その他	売上高	93	102	▲ 9
	経常損益	15	12	3
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 15	▲ 11	▲ 4
合計	売上高	2,957	2,736	221
	経常損益	109	72	38

主な財務指標

(億円、%)

	13年度1Q末	12年度期末	変動
自己資本	3,701	3,406	295
現預金等	1,631	1,621	10
有利子負債	6,006	6,299	▲ 293
DER	162%	185%	-23%
NET DER	118%	137%	-19%
自己資本比率	31.4%	28.9%	2.5%

前年同期比

・為替変動： 16.95 円 円安 ⇒ +40億円

・燃料油価格変動：\$79 安 ⇒ +29億円

A-2. 上期業績予想

(単位: 億円)

	2013年度			2012年度	前期比 増減額	期首公表	期首公表比
	1Q実績	2Q見込	上期	上期		上期	増減額
売上高	2,957	3,143	6,100	5,462	638	5,900	200
営業損益	73	57	130	121	9	160	▲ 30
経常損益	109	41	150	91	59	130	20
当期純損益	70	5	75	▲ 11	86	60	15
為替レート	¥97.72	¥99.53	¥98.63	¥79.73	¥18.90	¥95.00	¥3.63
燃料油価格	\$638	\$620	\$629	\$685	▲ \$56	\$620	\$9

(単位: 億円)

事業部門		2013年度		
		1Q実績	2Q見込	上期
コンテナ船	売上高	1,419	1,581	3,000
	経常損益	0	0	0
不定期専用船	売上高	1,361	1,339	2,700
	経常損益	122	58	180
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	85	115	200
	経常損益	▲ 12	2	▲ 10
その他	売上高	93	107	200
	経常損益	15	▲ 5	10
調整額	売上高	-	-	-
	経常損益	▲ 15	▲ 15	▲ 30
合計	売上高	2,957	3,143	6,100
	経常損益	109	41	150

【収支前提】

為替レート前提 2Q 99.53円

バンカー価格前提 2Q \$620/MT

A-3.通期業績予想

(単位:億円)

	2013年度			2012年度			前期比 増減額	13年度期首公表		
	上期	下期	通期予想	上期	下期	通期		上期	下期	通期
売上高	6,100	5,700	11,800	5,462	5,886	11,348	452	5,900	5,700	11,600
営業損益	130	150	280	121	27	149	131	160	150	310
経常損益	150	120	270	91	195	286	▲ 16	130	120	250
当期純損益	75	70	145	▲ 11	118	107	38	60	70	130
為替レート	¥98.63	¥95.00	¥96.81	¥79.73	¥77.89	¥82.33	¥14.48	¥95.00	¥95.00	¥95.00
燃料油価格	\$629	\$620	\$624	\$685	\$655	\$671	▲ \$46	\$620	\$620	\$620

(単位:億円)

事業部門		2013年度		
		上期	下期	通期
コンテナ船	売上高	3,000	2,800	5,800
	経常損益	0	20	20
不定期専用船	売上高	2,700	2,500	5,200
	経常損益	180	120	300
海洋資源開発 及び重量物船	売上高	200	200	400
	経常損益	▲ 10	0	▲ 10
その他	売上高	200	200	400
	経常損益	10	10	20
調整額	売上高	-	-	0
	経常損益	▲ 30	▲ 30	▲ 60
合計	売上高	6,100	5,700	11,800
	経常損益	150	120	270

【配当計画】 中間:無配 / 期末:3.5円

【収支前提】

為替レート前提 下期 95円

バンカー価格前提 下期 \$620/MT

【下期変動影響】

為替変動: 1円増減⇒±5億円

燃料油価格変動: \$10/MT変動⇒±7億円

A-4.業績変動のポイント

<対前年同期比>

1Q :増収 (+221億円)・増益 (+38 億円)

上期 :増収 (+638億円)・増益 (+59 億円)

(単位:億円)

損益変動要因	13F1Q実績 前年同期比	13F上期見込 前年同期比	概況
為替変動	40	90	1Q:為替16.95円安、上期:為替18.90円安
バンカー変動	29	41	1Qバンカー価格\$78.67/MT安、上期は\$56.15/MT安
市況変動	▲ 111	▲ 203	主にコンテナ船の市況低迷(コンテナ船の積高減少を含む)
配船効率化	43	49	不定期専用船の配船効率向上
コスト変動	46	99	コンテナ船合理化によるコスト削減を含む
関係会社	18	14	
その他	▲ 27	▲ 29	連結子会社の為替評価損益差等
合計	38	59	

<対期首公表比>

上期 :増収 (+200 億円)・増益 (+20億円)

(単位:億円)

損益変動要因	13F上期 期首公表比	概況
為替変動	17	上期為替3.63円安
バンカー変動	▲ 7	上期バンカー価格\$8.80/MT高
市況変動	▲ 137	主にコンテナ船の市況低迷(コンテナ船の積高減少を含む)
配船効率化	73	不定期専用船の配船効率向上
コスト変動	44	コスト削減は順調に進捗
関係会社	▲ 8	
その他	38	連結子会社の為替評価損益差等
合計	20	

A-5.コスト削減の進捗状況

- 2013年度 期首目標 145億円
- 第1四半期に40億円のコスト削減・収支改善を達成済み(進捗率28%)。
- 通期では期首に設定した目標は達成可能の見込み。

(単位:億円,%)

	期首目標	1Q実績	進捗率	通期見込	達成率
コンテナ船:航路合理化・コスト削減・収益改善	75	19	25%	75	100%
不定期専用船・その他	70	21	30%	73	105%
合計	145	40	28%	148	102%

B. 部門別業績動向

B-1. 部門別業績動向

コンテナ船

＜2013年度1Q実績＞ 前年同期比 増収・減益 / 公表前提比 売上見込通り・赤字縮小
 運航効率化・コスト削減に取り組むも欧州航路市況軟化により前年同期比悪化

＜今後のポイント＞

夏場繁忙期の運賃修復度合い

欧州・北米の景気動向

「選択と集中」を柱とする事業運営継続・コスト削減の徹底

		2012年度					2013年度
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績
売上高(億円)		1,332	1,378	1,228	1,589	5,528	1,419
経常損益(億円)		6	32	▲ 9	37	66	0
運賃推移	北米往航	100	105	101	103	102	98
08年1Q=100	欧州往航	97	88	73	77	85	62
積高(万TEU)	北米往航	18.4	21.2	19.9	17.1	76.6	19.4
	欧州往航	13.6	13.0	11.0	10.4	48.0	12.1
スペース(万TEU)	北米往航	19.1	21.9	20.6	19.6	81.3	21.4
	欧州往航	14.3	14.8	12.2	12.0	53.4	12.9
消席率(%)	北米往航	96%	97%	96%	88%	94%	91%
	欧州往航	95%	88%	90%	86%	90%	94%

B-2. 部門別業績動向 不定期専用船 ドライバルク

<2013年度1Q実績> 前年同期比 増収・増益 / 公表前提比 増収・増益

大型船は船腹供給過剰があったものの市況は回復基調

中小型船は季節的要因により船腹需要高まり市況上昇の動き

<今後のポイント>

市況は回復傾向にあるものの船腹供給過剰残り厳しい市況展開

引き続き効率的配船・運航コスト削減等収益改善策を徹底

バルク市況	2012年度					2013年度		
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績	2Q予想	上期予想
ケープ(170型)	\$6,000	\$4,800	\$12,600	\$6,000	\$7,350	\$6,300	\$10,000	\$8,150
パナマックス(74型)	\$10,000	\$6,600	\$6,600	\$7,100	\$7,575	\$7,760	\$7,500	\$7,630
ハンディ(53型)	\$11,000	\$10,300	\$7,600	\$8,100	\$9,250	\$9,320	\$9,250	\$9,285
スモール(28型)	\$9,000	\$8,650	\$6,200	\$6,250	\$7,525	\$7,340	\$7,000	\$7,170

(*)4T/C Average

B-3. 部門別業績動向 不定期専用船 自動車船

＜2013年度1Q実績＞ 前年同期比 増収・増益 / 公表前提比 増収・増益

輸送台数：861千台（前年同期比5%減）

輸送契約の見直しや航路改編などにより、運航効率改善

極東/中近東や極東/中南米航路が好調、大西洋航路も合理化効果により収益性向上

＜今後のポイント＞

北米や東南アジア市場は堅調に推移

欧州市場の低迷や中国/インド/ロシアなど新興国市場の成長鈍化が懸念材料

円安による日本からの輸出増は限定的

		2012年度					2013年度
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績
輸送台数 (千台)	往航	301	276	258	259	1,095	264
	復航	84	78	89	58	309	86
	三国間	309	288	322	262	1,180	310
	欧州域内	212	199	172	178	760	201
	合計	905	841	841	757	3,344	861
当社船隊規模	隻数	100	101	99	95	-	96

B-4. 部門別業績動向 不定期専用船

LNG船・油槽船

<2013年度1Q実績> 前年同期比 減収・増益 / 公表前提比 減収・増益

【LNG】 堅調なLNG需要の中、中長期契約にて安定収益を確保

【油槽船】 大型原油船: 中長期契約の下、順調稼動

中型原油船・石油製品船: 船隊縮小により市況低迷の影響は限定的

<今後のポイント>

【LNG】 中長期契約による安定稼動

【油槽船】 市況本格回復までは時間を要する。効率配船により収支改善を図る

油槽船市況 (WS)	2012年度					2013年度
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q実績
VLCC(中東/日本)	52	36	46	36	43	38
	\$24,000	\$3,000	\$19,000	\$12,000	\$14,500	\$15,000
Aframax(南方/豪州)	84	91	91	75	85	70
	\$7,800	\$11,500	\$12,300	\$8,000	\$9,900	\$5,300
クリーン7万トン型(中東/日本)	91	101	115	88	99	84
	\$6,600	\$12,800	\$19,200	\$12,000	\$12,650	\$9,800

B-5. 部門別業績動向

海洋資源開発及び重量物船

【海洋資源開発】

＜2013年度1Q実績＞ 前年同期比 増収・減益 / 公表前提比 増収・減益

【オフショア支援船】 船隊は順調に稼動 為替評価損により業績悪化

【ドリルシップ】 12年度に稼動開始。安定収益として寄与

＜今後のポイント＞

【オフショア支援船】 中長期契約にて安定収益確保を目指す

【ドリルシップ】 安定稼動による収益貢献を見込む

【重量物船事業】

＜2013年度1Q実績＞ 前年同期比 増収・赤字縮小 / 公表前提比 増収・赤字縮小

重量物船市況は低迷するも、事業参入時に発生したのれん代負担なくなり業績改善

＜今後のポイント＞

オフショア貨物輸送・設置作業分野に参入、資源エネルギーや石油化学プラントなど収益性の高い大型プロジェクト・オフショア案件への参画により収益改善を図る

ご清聴ありがとうございました